

# 第 70 回大腸癌研究会

## 腹腔鏡下大腸切除研究会ビジネスミーティング 議事録

2009年1月15日(木) 14:00-16:00  
都市センターホテル 601会議室

1. 「Clinical Stage0-I 直腸がんに対する腹腔鏡下手術の妥当性に関する第 II 相試験」関連
  - (1) 進捗状況は良好である旨が報告された。
  - (2) 試験の質を評価するために提出を依頼している術中写真について、あらかじめ評価委員会を設定の上評価項目を策定し、試験終了時に論文作成も念頭におきデータを評価することが承認された。  
また、事務局の山本聖一郎先生が評価項目の素案を作成し、次回ミーティングにおいてその妥当性について検討することが承認された。
2. 新規プロジェクト関連
  - (1) 「高齢者における腹腔鏡下大腸切除術の有効性と安全性に関する後向き調査」  
プロトコルについて検討し、次回の大腸癌研究会時に再度検討することが承認された。  
同時に本研究を大腸癌研究会のプロジェクト研究として提出することが承認された。
  - (2) 「Stage IV 大腸癌に対する腹腔鏡下手術の意義」  
プロトコル最終案を具体的に検討した。若干の修正の後、メールで会員に報告し承認が得られれば、本研究を腹腔鏡下大腸切除研究会主導の臨床研究として来年度に開始することが承認された。
3. 新規プロジェクト案について
  - (1) 腹腔鏡下 ISR 症例の retrospective な検討  
山本聖一郎先生(国立がんセンター中央病院)と伊藤雅昭先生(国立がんセンター東病院)が中心となり、研究内容の検討を開始することが承認された。
  - (2) 横行結腸癌, 下行結腸癌の retrospective な検討  
山口茂樹先生(埼玉医科大学国際医療センター)が中心となり、研究内容の検討を開始することが承認された。
4. 学会及び論文発表におけるルールについて  
本研究会による研究データは全ての会員で共有する。学会発表や論文作成などに使用する際には、その意向を事務局に連絡する。なお出典を明記すれば会員はデータを自由に使用できることが承認された。
5. 会員登録について  
これまでの個人会員制から施設会員制への変更が承認された。施設代表者 1 名並びに

実動責任者 1 名を登録し、2009 年度より年会費 10,000 円／施設とすることが承認された。

6. 今後の研究会の方向性について

研究会の規模や入会審査について検討し、当面は従来通り運営していくことが承認された。また施設会員制の導入にともない、会則の改定が必要であることが承認された。

7. 次回講習会について

大阪赤十字病院 金澤旭宣先生による開催が決定された。

6, 7 月の開催とし、日程の調整を行うことが承認された。

以上